



オイルフェンス設置訓練
 (オイルフェンスを張り、吸着マット(万国旗型等)で油を回収)

河川の水は、飲料水・工業用水・かんがい用水などに利用されており、事故により油などが流出すると取水停止、生態系への影響など重大な被害が予想されます。また、その処理に多大な労力と費用を要する場合があります。

これから灯油等の取り扱いが増える冬季になり、油流出事故の発生増加が懸念されることから、国、県、市町村等の関係機関で連携し、水質事故対策訓練を毎年実施しています。

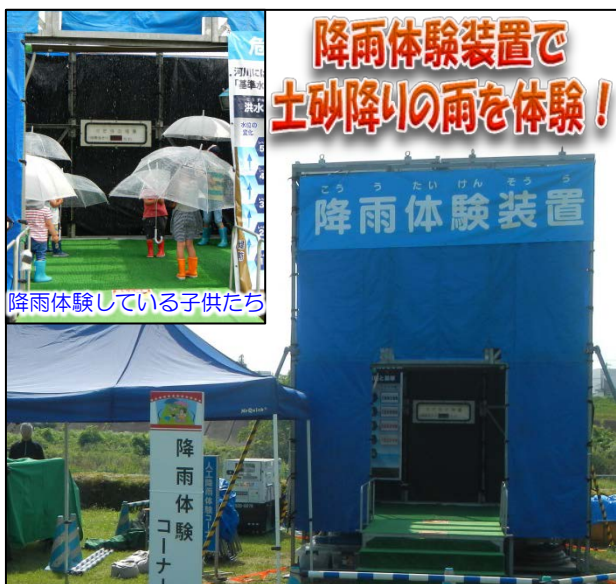
油流出事故 対策訓練実施

北上川水系水質汚濁対策連絡協議会上流支局(上流支局長:岩手河川国道事務所長)では、11月6日(月)に岩手県内の関係機関で油流出等の水質事故における拡大防止対策として、オイルフェンスの設置や油回収の方法等についての訓練を実施しました。



オイルフェンス接続訓練

一般家庭からの流出でも、回収・処理に要した費用は**原因者の負担**になります。油漏れを防ぐため定期点検を行いましょ！



他にも、いろいろな実験・体験ができるよ!!

あいぼーとフェア'17

入場無料

洪水時には、ダム群による洪水調整や地元水防団などの懸命な水防活動、排水ポンプ車による排水作業などで被害の軽減に努めていますが、大規模水害に対する被害の最小化を目指すためには、地域の皆様の力が必要です。

そこで、地域の皆様に「治水施設や災害対策車両の役割」と、自らそして家族の「命を守る防災」を知ってもらう機会として「あいぼーとフェア'17」を開催します。

日時	平成29年11月18日(土)
会場	国土交通省一関防災センター 北上川学習交流館 あいぼーと
あいぼーとフェア'17 お問合せ	岩手河川国道事務所 調査第一課 TEL. 019-624-3116

◆◆編集後記◆◆一般家庭のホームタンクや事業所のタンクから灯油などの油類が漏れ出し、河川などに流出する事故が増えているそうです。その多くは、管理不備やうっかりミスが原因!! 皆さん注意しましょ(よ)



胸に刻もう

『カスリン・アイオン台風70年』

～風化させない歴史とつなげる未来～